

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次／前期					
科 目 名	エステティック概論	担当教員	新原 涼子					
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8	
科目の到達目標及び授業内容 エステティックの語源や領域、ソワソワエステティックとは何かを理解する。 エステティシャンとしてのやり甲斐や、現場で求められるエステティシャン像を理解する。 日本人ならではの「おもてなしの心」の素晴らしさを学び、傾聴スキルを身につける。 自身の性格タイプを知ること、接客やコミュニケーション力の向上に役立てることができる。 世界のスパ事情を学び、様々な療法を知る。								
授 業 計 画 画	1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・エステティックの概念 エステティックの語源、領域、歴史について 国内外の資格について ・エステティシャンに必要なこと 「ホスピタリティマインド」とは 知識、技術力、人間性を磨くことの大切さ ・名前リピートゲーム 相手に「関心」を持つことの大切さを体感する 						
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションスキルを身につける 交流分析（エゴグラム）で「現在の自分」と「理想の自分」を分析する アサーション理論を学び、コミュニケーションスキルを身につける 「傾聴」の大切さ 						
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなし」は日本人が誇る素晴らしい文化 「おもてなし」とは ニコニコトレーニング 「おもてなしの心」とは（利他の心・一期一会・期待を超える接客） ・ディズニーランドに学ぶ感動のホスピタリティ 						
	5.6	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の基本 カウンセリングの基本・受容・共感・カタルシス（浄化） 傾聴スキルトレーニング 接客におけるタイムルール マズローの欲求段階 四季や五感を意識したサロンの空間づくりとは 						
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・「癒し」とは何か ヒーリングミュージックと脳、環境設定について 海外のスパを知る（補完医療、スパの種類、様々な療法など） ※各授業ごとに小テストあり 						
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・前期試験 						
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 80 % ②定期試験 20 %						
	教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター							
テキスト・参考文献：	「ディズニーのホスピタリティ」（中経出版） 「おもてなしマスター」（キャリア教育総合研究所）							
その他(授業担当者のコメントなど) 「傾聴」することを一番の目標とし、お客様の「心の声」を聞き取れるエステティシャンを目指してください。 サービス、ホスピタリティ、おもてなし、それぞれの違いを理解し、お客様が感動する接客を目指してください。								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／前期			
科 目 名	マネージメント・関連法規		担当教員	廣川 俊輔			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 卒業後の就職に際し、エステティックサロン側の営業活動の根幹を理解する。 マネジメントや意味・方法を正しく理解する。 エステティックに関連する法律を理解すること。							
授 業 計 画	1	カウンセリングの必要性及び法律の必要性					
	2	カウンセリングのための基礎知識					
	3	エステティックサロン業務について					
	4	エステティックサロン運営に必要なものとは①					
	5	エステティックサロン運営に必要なものとは②					
	6	エステティックサロン運営に必要なものとは③					
	7	エステティック業界の動向					
	8	前期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	エステティックに関する関連法令 エステティックマネジメント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	解剖生理学		担当教員	高橋 みさ子				
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	80	単位数	5	授業回数	40
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが心身ともに健やかに生きたいと願うが、自然に訪れる老化現象をはじめ、多様な理由から健康を損なったり、心身の不調を感じたりする。そのメカニズムを理解する。 ● 健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ● 生物体が生きて働く生理学と、その構造を調べる解剖学がある。この二つを結びつけ学ぶ。 								
授 業 計 画	1～3	解剖生理学 生理解剖学の基礎知識 恒常性の維持、代謝、反射、臓器の働きなど基礎的な項目を学ぶ						
	4～5	生体調節のしくみ 自律神経系のしくみやその作用について学ぶ						
	6～8	人体構成のしくみ 人体の形態的構成、物質的構成について学ぶ						
	9～13	骨格・筋肉系統について 骨・筋肉の種類とその名称と働きについて学ぶ						
	14～15	消化器系について 消化器系とその付属期間の働きについて学ぶ						
	16～18	呼吸器・循環器系について 呼吸器・循環器のしくみや体循環・肺循環について学ぶ 心臓の自動性と刺激伝導系、血液成分について学ぶ						
	19～20	泌尿器・生殖系について 腎臓の働きや生殖と遺伝について学ぶ						
	21～22	内分泌系について 内分泌・外分泌、ホルモンと分泌腺、女性らしさについて学ぶ						
	23～24	前期試験 (解剖学・生理学基礎)						
	25～29	人体のしくみを具体的に理解しさらにワークショップを実施する						
	30～35	大脳生理学 大脳生理学の基礎知識 脳の構造とその働きについて学ぶ 神経系の構造とそのしくみについて学ぶ						
	35～38	人体生理学・大脳生理学のまとめ						
	39.40	後期試験 (解剖生理学・大脳生理学)						
成績評価	① 平常点(出席率) 20% ② 定期試験 80%(前期40%・後期40%)							
教科書・教材	エステティック 1. (青本) 新版 からだのしくみカラー辞典 配布プリント							
使用教具・器材	模造紙							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆 (12色以上) A4サイズのファイル								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年			
科 目 名	皮膚科学	担当教員	林 美喜			
授業形態	講義・演習	授 業 時間数	96	単位数	6	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 皮膚科学概論を理解する。皮膚の役目、生理作用について理解する。知覚神経について理解する。 肌質について理解する。肌トラブルと肌の構造について結び付けができるようになる。 肌トラブルに応じたトリートメントを考えられるようになる。 肌トラブルと、身体の仕組みや役割（解剖生理学）、化粧品学を併せて考えることが出来るようになる。 化粧品検定2級取得を目指す。						
授 業 計 画	1. 2	皮膚科学概論・皮膚の構造（皮膚図にて皮膚の各層、名称を覚える）				
	3. 4. 5	皮膚各層の働きや特徴を理解する				
	6. 7. 8	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）				
	9. 10	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）				
	11. 12	皮膚の生理作用まとめ・確認テスト				
	13. 14	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ				
	15. 16	皮膚トラブル（老化・血管）				
	17. 18	皮膚トラブル（ニキビ）				
	19	皮膚トラブル（色素）				
	20. 21. 22	皮膚トラブル（シミ・くすみ・クマ）・紫外線について				
	23. 24	各皮膚トラブルの原因と対策の理解を深める				
	25	前期試験				
	26. 27. 28	前期試験回答・復習・まとめ				
	29. 30. 31	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）				
	32. 33	カウンセリング（肌診断・トーク力）				
	34	日本化粧品検定模試				
	35	日本化粧品検定対策				
	36. 37. 38	総合的な理解（肌の状態を理解し状況に応じた対応をするための触診、視診、知識と思考力をつける）				
39. 40	お客様との対応や国際試験のための口頭試問対策（状況を把握し、的確に表現・伝達する力をつける）					
41. 42. 43	総合的な理解・まとめ①					
44	総合的な理解・まとめ②					
45	後期試験					
46. 47. 48	総合的な理解・まとめ③					
成績評価	①平常点（出席・授業態度・意欲）20% ②前期試験 40%・後期試験 40% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる					
教科書・教材	・テキスト ・配布プリント ・化粧品検定1. 2. 3級対策テキスト ・からだのしくみ事典					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献： 実技と並行して皮膚のことを学ぶ為、授業内容によっては、フェイシャルやボディを行う。						
その他(授業担当者のコメントなど) 配布されたプリントを整理整頓し、わからないことはそのままにせず、自主的に調べ、質問を繰り返して、会話が出来るようになる努力をしてください。接客業ですから、対話することを常に意識し、態度、声のトーン、表情、仕草など多くのことに気付けるようにしましょう。日常に変化がある学びにしてください。						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	栄養学		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 食べ物と身体や皮膚、髪や爪などの関係を深く知ることができる。 学んだ知識を積極的に実践し、自身の体験（エビデンス）を積みかさねる。 健康や美の土台は食べ物にあるということを理解し、お客様へのアドバイスができるようになる。 消化、吸収、排泄の仕組みを学び、代謝（異化・同化）とは何かを知る。 エネルギー産生の栄養素、身体の調整素、構成素としての栄養素について学ぶ。							
授 業 計 画 画	1.2	・テキスト序章 健康・栄養新事情 ・テキスト第1章 栄養学入門 栄養学を学ぶ目的について理解させる		P5～P14 P6～P30			
	3.4	・テキスト第2章 活動とエネルギー ・テキスト第3章 年代別栄養 エネルギー産生を行う栄養素について ライフサイクルに合わせた栄養の摂り方		P31～P40 P41～P60			
	5	・テキスト第4章 栄養素早わかり 3大栄養素について		P41～P72			
	6.7	・テキスト第4章 栄養素早わかり ビタミン ミネラル 水について		P73～P130			
	8	・前期試験					
	9.10	・テキスト第5章 機能性成分 健康を守る注目の食品成分について		P131～P148			
	11	・テキスト第6章 代謝のしくみⅠ		P153～P165			
	12.13	・テキスト第6章 代謝のしくみⅡ 咀嚼、消化、吸収について		P166～P172			
	14.15	・テキスト第7章 症状別栄養 食べ物と病気の関係について ※各授業ごとに小テストあり		P173～P234			
	16	・後期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 80 % ②定期試験 20 %						
教科書・教材	栄養の基本がわかる図解辞典 プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター						
テキスト・参考文献:	栄養素図鑑（新星出版社）「体を温める健康法」（パワーブックス） 腸内リセットダイエット（マキノ出版）間欠的ファスティング（マキノ出版）						
その他(授業担当者のコメントなど)	「身体は食べたものからしか作られない」という言葉の意味を深く理解しましょう。 積極的に学んだ知識を実践し、内面からの美を意識しましょう。						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	化粧品学		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> 化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用される主な原料などを学び、エステティシャンとしての必須知識を習得する。 自分の言葉で適切に説明ができるようにする。 							
授 業 計 画	1～4	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の必要性を学ぶ 化粧品概論（薬事法・化粧品の分類・目的・取り扱い上の注意点） 基礎化粧品（洗顔料・化粧水・クリーム類・賦活化粧品・サンケア科） 検定対策テキスト美容知識 					
	5～6	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の原料を学ぶ 基材原料（水性原料・油性原料・界面活性剤・保湿剤・高分子化合物・色材原料・香料） 化粧品に用いられる薬剤とその働き （紫外線防止剤・酸化防止剤・防腐剤・殺菌剤・美白剤・抗炎症剤・鎮静剤・ビタミン剤） 成分表作成（肌質別） （化粧品検定対策教本 1級参照） 					
	7～8	<ul style="list-style-type: none"> 教材の成分や特徴を学ぶ 					
	9	<ul style="list-style-type: none"> 前期試験 					
	10～12	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品を肌別仕様に分析する グループでリサーチし発表する 検定対策テキスト美容知識参考 					
	13～15	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブルに対する適切なケアをするための化粧品の成分・使用目的を考えることを学ぶ 					
	16	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験 					
	成績評価	① 平常点(出席率) 20% ② 定期試験 80%(前期40%・後期40%)					
教科書・教材	エステティック II (赤本)、化粧品検定1級対策テキスト、化粧品検定2級3級対策テキスト プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： A4クリアファイル（配布資料の保存） 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	フェイシャル		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にフェイシャル実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	192	単位数	6	授業回数 96
科目の到達目標及び授業内容 肌診断後、その肌に応じた(ハンド・美容機器を含めた)トリートメントを組み立て、時間内に施術が出来るようになる。 マッサージの六技法や、マッサージの目的、トリートメントの目的を理解し、知識と技術をマスターする。 施術工程の目的に併せた化粧品を選択し、知識を技術に反映させることができるようになる。 心身の状態が肌に関係に深いことを他教科で学んだ上で、相手を思いやる気持ちを掌で伝えるエステティシャンとして必要なスキルを身につける。							
授 業 計 画	1-3	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について	◆人体の基礎知識				
	4-6	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について					
	7-9	ベッド誘導・ターバン					
	10-12	マッサージの目的や六技法・技術ポイント等					
	13-15	マッサージデコルテ①					
	16-18	マッサージデコルテ②					
	19-21	マッサージフェイシャル①					
	22-24	マッサージフェイシャル②					
	25-27	マッサージフェイシャル③					
	28-30	クレンジング手順 (ポイントメイク落とし・デコルテ・フェイシャル)					
	31-33	吸引					
	34-36	マッサージ確認テスト					
	37-39	トレーニング					
	40-42	前期試験					
	43-45	パック					
	46-48	トレーニング					
	49-51	美容機器取り扱いについて					
	52-54	トレーニング					
	55-57	トレーニング					
	58-60	トレーニング					
	61-63	トレーニング					
	64-66	トレーニング					
	67-69	後期試験					
	70-72	トレーニング					
73-75	トレーニング						
76-78	トレーニング						
79-81	トレーニング						
82-84	トレーニング						
85-87	トレーニング						
88-90	トレーニング						
91-93	トレーニング						
94-96	トレーニング						
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)10% ②前期試験40%・後期試験40% ③確認テスト10% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキストⅠ・Ⅱ ファイル1冊(プリント配布)						
使用教具・器材	フェイシャル機器(吸引・電気導入・ウッドランプ・スチーム)						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる気持ちに成長はありません。 常に向上心を持って、時間を大切に取り組みましょう！							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年			
科 目 名	ボディ	担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にボディ実務経験)			
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	160	単位数	5	授業回数 80
科目の到達目標及び授業内容 身体の仕組み、働きや作用を理解し、部位別の目的（リラクゼーション・プロポーション）に応じたケアを学ぶ。 各マッサージの手技（六技法）と目的を理解する。 美容機器の使用目的、注意点、禁忌事項を理解する。						
授 業 計 画 画	1-2	ボディ理論（解剖生理学の理解、六技法、ボディマッサージの必要性や目的について）				
	3-4	ボディ準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する				
	5	フットマッサージ（脱毛授業と併用）				
	6-7	背面下肢のマッサージ①				
	8-9	背面下肢のマッサージ②				
	10-11	フットマッサージ（脱毛授業と併用）				
	12-13	フットマッサージ（脱毛授業と併用）				
	14-15	臀部のマッサージ				
	16-17	背中 of マッサージ				
	18	フットマッサージ（脱毛授業と併用）				
	19-21	前面下肢・腹部のマッサージ				
	22	フットマッサージ（脱毛授業と併用）				
	23-25	確認テスト（背面マッサージ）				
	26-28	バスのマッサージ				
	29-30	上肢のマッサージ				
	31-33	トレーニング				
	34-35	トレーニング				
	36	フットケア				
	37-39	機器の使い方（低周波・G5）① 使用目的・禁忌事項				
	40-42	機器の使い方（低周波・G5）②				
	43-44	機器の使い方（低周波・G6）③				
	45-47	トレーニング				
	48-50	トレーニング				
	51	後期試験（理論）				
52-53	後期試験（実技）					
54-80	トレーニング					
成績評価	①平常点(出席・準備品・授業態度・小テスト) 10% ②後期試験 理論20% 実技70% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる					
教科書・教材	テキストⅠ・Ⅱ ファイル1冊（プリント配布）					
使用教具・器材	低周波・G5					
テキスト・参考文献：						
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる気持ちに成長はありません。 常に向上心を持って、時間を大切に取り組みましょう！						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年			
科 目 名	メイクアップ	担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 メイクアップの基礎知識・基礎技術を習得し、顔を的確に観ることが出来るようになる。 また、TPOに合わせた応用メイク、個性を活かしたメイクアップとバリエーションを広げ、メイクアップの総合技術を習得する。						
授 業 計 画	5/10(火)	1.2	教材配布・ガイダンス・テーブルセッティング・モデル(ウイッグ)セッティング・基本スタンス・体重移動			
	5/18(水)	3.4	ベーシックメイクアップ①相モデル実習			
	5/24(火)	5.6	ベーシックメイクアップ②相モデル実習			
	6/1(水)	7.8	ベーシックメイクアップ③相モデル実習			
	6/8(水)	9.1	ベーシックメイクアップ④相モデル実習			
	6/14(火)	11.12	ベーシックメイクアップ⑤相モデル実習			
	6/22(水)	13.14	ベーシックメイクアップ⑥相モデル実習			
	7/5(火)	15.16	ベーシックメイクアップ⑦相モデル実習			
	7/20(水)	17.18	ベーシックメイクアップ⑧相モデル実習			
	7/27(水)	19.20	ベーシックメイクアップ⑨相モデル実習			
			夏休み			
	8/24(水)	21.22	ベーシックメイクアップ⑩相モデル実習			
	9/1(木)	23.24	ベーシックメイクアップ⑪相モデル実習			
	9/7(水)	25.26	ベーシックメイクアップ⑫相モデル実習			
	9/20(火)	27.28.29	前期実技試験			
	10/19(水)	30.31	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ①			
	11/2(水)	32.33	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ②			
	11/9(水)	34.35	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ③			
	11/16(水)	36.37	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ④			
	11/30(水)	38.39	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑤			
12/7(水)	40.41	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑥				
12/14(水)	42.43	TPOやファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ⑦				
		冬休み				
1/18(水)	44.45	総復習				
1/31(火)	46.47.48	後期実技試験				
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%					
教科書・教材	教科書・メイク教材一式・スキンケア用品・その他(ウイッグ・ヘアバンド・タオル・綿棒・ティッシュペーパー・コットン類・トレー類・色鉛筆・スケッチブック・デッサン用鉛筆)					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献:						
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回メイク実技を行いますのでメイク道具類の忘れ物がないようにしてください。道具の貸し借りは禁止とします。 特にメイクブラシやスポンジ、パフ類は洗浄、消毒したものを持参し、使いまわしは絶対にしないようにしてください。 メイク道具を忘れた場合は実習見学となります。ユニフォームの着用、適切な身だしなみ、道具類の準備は授業開始前に行っておくこと。 学校配布教材以外のメイク道具は使用禁止とします。皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をしてください。						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年				
科 目 名	ネイル	担当教員	宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア、ポリッシュカラー、アートの基礎知識と技術を学び、JNEC3級試験とINFA国際ライセンスの資格取得を目指す。 資格取得と同時にサロンワークに必要な接客マナー、身だしなみ、器具の衛生管理やサロン内の環境を整える大切さを学び、お客様が心地良く感じられる手指や腕の支え方、誘導の仕方等の所作も磨く。 指先だけのお手入れと捉えるのではなく、人の体の一部に触れていくことは全身と心にも繋がっているということを理解してサービスが提供できるようになる。 JNECネイルリスト技能検定試験3級 受験予定日2022年10月23日							
授 業 計 画 画	1~3	教材説明 (使用方法と取扱注意点)、ネイルケア基礎理論、テーブルセッティング、手指の支え方					
	4~6	テーブルセッティング、器具&手指消毒、カウンセリング、ファイリング (タイプ別カットスタイル)、パフイング ※カットスタイル別ファイリングの課題					
	7~9	ファイリング復習 (ラウンド)、キューティクルクリーン ※カットスタイル別課題 提出&チェック					
	10~12	カラーリング (ベース、トップコート of の必要性)、ボトルクリーニング ※カットスタイル別課題 再提出&チェック					
	13~15	フラット&ストーンアート (5枚花、葉、バラ、ドット等) アクリル絵の具の特性、アートブラシの使用方法 ※カットスタイル別課題のチェック、次回3級指定フラットアートの課題					
	16~18	ネイルケア~カラーリング~アート (3級試験の流れ) 通し練習 ※フラットアート課題 提出&チェック					
	19~21	ネイルケア~カラーリング~アート	70分間タイムアタック	※フラットアート課題 提出&チェック			
	22~24	ネイルケア~カラーリング~アート	70分間タイムアタック	※フラットアート課題 提出&チェック			
	25	前期筆記試験					
	26~28	前期実技試験 フラットアート課題提出					
	29~30	ネイルケア~カラーリング~アート	70分間タイムアタック	※フラットアート課題チェック 3級受験対策			
	31~33	ネイルケア~カラーリング~アート	70分間タイムアタック	※フラットアート課題チェック 3級受験対策			
	34~35	フラットアート (フレンチ、マーブル、スポンジ、ポリッシュアート等) アートチップ作成 (卒業制作について)					
	36~38	INFA試験対策 卒業制作チェック					
	39~41	INFA試験対策 卒業制作チェック					
	42~44	INFA試験対策 卒業制作チェック					
45	後期筆記試験						
46~48	後期実技試験 卒業制作提出						
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 (筆記 40% 実技 40%) 3) 課題・卒業制作 10%						
教科書・教材	JNAテクニカルシステムベーシック、ネイルケア用具一式、ケアに必要なアルコール、コットン、ペーパー類 共用で使用するポリッシュ類、筆記小テストプリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献: 必要に応じて筆記試験対策としての小テストを行います。出題はJNECの筆記試験の出題傾向を参考に作成します。							
その他(授業担当者のコメントなど) 実技は基本的に相モデルで行います。技術者、モデル共にお互いに配慮のある姿勢で受講するようお願いいたします。 授業に必要な道具やテキスト等は必ず前日までに各自で確認をして準備してください。 使用した道具に関しては必ずクリーンして清潔に保ち大切に保管して下さい。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーとは・精油（エッセンシャルオイル）の安全な使用方法・プロフィール等、芳香療法を多方面から学ぶ。 原材料・歴史や健康学等の知識を深め、アロマセラピー検定1級取得をねらう（任意） ※アロマ環境協会 アロマセラピー検定試験時期 11月上旬								
授 業 計 画 画	5/1 (火)	1	テキスト・教材配布・ガイダンス・アロマセラピー概論					
	5/18 (火)	2	精油プロフィール①シソ科・理論					
	5/24 (火)	3	精油プロフィール②ミカン科・理論					
	6/1 (水)	4	精油プロフィール③フトモモ科・理論					
	6/8 (水)	5	精油プロフィール④バラ科・理論					
	6/14 (火)	6	精油プロフィール⑤カンラン科・理論					
	6/22 (水)	7	精油プロフィール⑥ヒノキ科・理論					
	6/30 (木)	8	精油プロフィール⑦キク科・理論					
	7/5 (水)	9	精油プロフィール⑧イネ科・理論					
	7/13 (水)	10. 11	精油プロフィール⑨フウソウ科・理論					
	7/20 (水)	12	精油プロフィール⑩パンレイシ科・理論					
	7/27 (水)	13	精油プロフィール⑪ビャクダン科・理論					
				夏休み				
	8/24 (水)	14	精油プロフィール⑫モクセイ科・理論					
	9/1 (木)	15	精油プロフィール⑬コショウ科・理論					
	9/7 (水)	16	精油プロフィール⑭エゴノキ科・理論					
	9/15 (木)	17	前期試験					
	10/19 (水)	18	理論まとめ・検定受験対策					
	10/20 (木)	19. 20	理論まとめ・検定受験対策					
	10/26 (水)	21. 22	理論まとめ・検定受験対策					
	11/2 (水)	23	理論まとめ・検定受験対策					
	11/9 (水)	24	アロマセラピー応用・実践①					
	11/16 (水)	25	アロマセラピー応用・実践②					
	11/17 (木)	26. 27	アロマセラピー応用・実践③					
	11/30 (水)	28	アロマセラピー応用・実践④					
	12/7 (水)	29	アロマセラピー応用・実践⑤					
	12/14 (水)	30	アロマセラピー応用・実践⑦					
				冬休み				
	1/18 (水)	31	総復習					
	1/25 (水)	32	後期試験					
	成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
	教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト その他プリント						
使用教具・器材	アロマセラピー配布教材							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) エステティシャンには欠かせない知識・技術のアロマセラピー（芳香療法）です。1年次には主に知識面を学習します。 知識の習得度を客観的に判断する為、アロマ環境協会主催のアロマセラピー検定1級の受験（11月）に合わせたスケジュールで進めていきます。 植物アレルギーや皮膚疾患等ある場合は事前に申し出てください。 授業開始前にユニフォーム着用の上、身だしなみ、準備等済ませておくようにしてください。衛生消毒には十分に留意し、道具の管理をお願いします。								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	脱毛/フットケア(ペディキュア)		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時に脱毛実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 毛の構造、毛の成長経過、毛の性質や部位別の毛の働きを理解する。 眉毛やうぶ毛の処理をすることによりメイクアップの仕上がりに変化があることを他教科と並行して修得する。 脱毛処置の技術(一時的脱毛、電流による脱毛処理)、脱毛後の肌のお手入れ、脱毛処理ができない肌状態、健康状態など、脱毛に関する多方面から脱毛テクニックを修得する。 くるぶしから下のフットケア(ペディキュア含む)の技術を修得する。							
授 業 計 画	1	フットケア理論(解剖生理学の理解、爪の病気、足のトラブル)					
	2-3	フットケア技術 ①					
	4-5	フットケア技術 ②					
	6	フットケア技術 ③					
	7	毛髪についての基礎知識 ワックス脱毛デモンストレーション/トレーニング ・下肢 ・上肢 ・背面 ・腋					
	8	トレーニング ①					
	9-10	トレーニング ②					
	11	前期試験(理論)					
	12-13	トレーニング ③					
	14	トレーニング ④					
	15-16	トレーニング ⑤					
	17	トレーニング ⑥					
18-19	後期試験(実技)						
20-32	トレーニング(脱毛・フットケア・ペディキュア)						
成績評価	① 平常点 10% ② 前期試験(筆記) 40% ③ 後期試験(実技) 50%						
教科書・教材	テキスト ファイル1冊(プリント配布)						
使用教具・器材	ビューティーフット・オイル・油性ワックス						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる気持ちに成長はありません。 常に向上心を持って、時間を大切に取り組みましょう!							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年			
科 目 名	造形と色彩	担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラーリスト検定3級合格を目指す。 ・身の周りの色彩に興味を持ち、実践に役立つ基本的な色彩の知識や配色技法を身につける。 ・色彩を通し仕事や生活の幅を広げていけるようにする。 						
授 業 計 画	1～3	オリエンテーション 第1章 ◇色彩と文化 (四季の自然を表す色～慣用色名などを学ぶ) ◇日本の色の歴史・・古来より美しい色彩、歴史とのかかわり ◇色と生活・・周りに取り巻く様々な色を見る ◇色の種類・・色名について理解する				
	4～6	第2章 色彩理論 色のしくみ～ 色に見えるメカニズムを知る ◇CUS表色系・・カラーアンダートーンシステムについて学ぶ ◇色相について 色調について (色相環・色調図作成)				
	7～9	第2章 色彩理論 色の三属性～色を表す物差しについて理解する ◇対比現象・・対比効果と同化効果について (プリント) ◇色の感情効果・・色のイメージや心理効果について				
	10	第2章 色彩理論 CUS配色 配色効果・配色演習 (プリント)				
	11	第3章 色彩とファッション～ブライダルと色彩について、服飾史の基礎知識 ・基本的な配色テクニック(プリント)				
	12	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー概論 アンダートーンとシーズンの特徴を知る				
	13	前期試験				
	14	第4章 パーソナルカラー 肌のしくみ・皮膚の構造・髪の毛の科学・ヘアメイクについて				
	15.16	パーソナルカラーまとめ 検定対策・過去問題・回答解説				
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%					
教科書・教材	パーソナルカラーリスト検定公式テキスト・カラーカードCUS157					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献:	パーソナルカラーリスト検定3級問題集 color Ar reangement					
その他(授業担当者のコメントなど)	色の楽しさを知り、身近にある色に興味を持てるようになって欲しい。 又、基本的な知識を理解して検定3級を取得。					

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 「キャリア形成」とは人生・職業生活において、自らの価値や役割を見だし、人間的成長・自己実現を図ること 自立した社会人になることを目標に、働くことの意味を真に理解し、仕事をするために必要となる「考え方・行動・技術」 を身につけるため、3つの能力を習得する 1. ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・敬語などの言葉遣い・電話応対・訪問・メール文書・手紙） 2. 企業・組織のしくみ理解、PDCA・報告連絡相談などの基本的な仕事の進め方 3. 就職に必要なマインドと技術（履歴書・自己分析・面接マナー）							
授 業 計 画 面	1	オリエンテーション、自己紹介 ビジネスマナー・社会人基礎力とは					
	2	キャリアプラン作成（1・5・10年後）：棚卸し、問題・課題・目標設定（現状とあるべき姿）					
	3	社会人とは「社会人と学生の違い」、挨拶とお辞儀					
	4	身だしなみと第一印象					
	5	言葉遣いの基本（敬語・クッション言葉・ビジネスに適した言葉遣い）					
	6・7	電話のかけ方・受け方、ロールプレイ 訪問のマナー・心得、席次（会議室・エレベーター）、ロールプレイ					
	8	メール文書・手紙の書き方（依頼文・お礼状・添え状） 前期試験対策					
	9	前期試験					
	10	履歴書・エントリーシートの書き方（基本）					
	11	自己理解のための自己分析					
	12	面接の入退室マナー、ロールプレイ					
	13	模擬面接、フィードバック（問題把握・課題・改善）					
	14	企業・組織のしくみ、仕事の進め方（PDCA・QCD・仕事の成果物と優先順位）					
	15・16	報告・連絡・相談の基本と応用、伝達ツールの選択					
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%					
教科書・教材	配付プリント						
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター、スクリーン						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 「キャリア形成」で学ぶことは、学生から社会人となり、人生・職業生活を生きていくために必要なスキルです。 日々の考え方・行動が習慣を変え、人生を変えていきます。 「自分は何ができて、何がしたいのか」目指すキャリアの道筋を具体化していきましょう。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジ実務経験)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16	
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ ヘアアレンジへの興味を持ち、日常の自分のヘアスタイルにも工夫し身だしなみを整える ・ 何度も繰り返し練習することで、技術の習得する ・ 説明を聞き、手元を見て、実践することで、集中力を養う ・ 似合わせのデザインを考える力と、最後まで作り上げる責任感を持つ ・ 欠課が無いよう自己管理をする 								
授 業 計 画	1 4/26	二年生と浴衣用ヘアアレンジをしよう	準備物：肩タオル2枚、アイロン、消毒用タオル					
	2 4/26	二年生と浴衣用ヘアアレンジをしよう	準備物：肩タオル2枚、アイロン、消毒用タオル					
	3 5/13	自己紹介、一年間の流れや目標確認	自分の夜会巻きスタイルの練習 ①					
	4 6/19	アイロンを使って巻く	自分の夜会巻きスタイルの練習 ②					
	5 6/17	カールとツイストを使ってハーフアップスタイルを作る	夜会巻きチェック	①				
	6 6/24	カールと編み込みでスタイルを作る ①	夜会巻きチェック	②				
	7 7/8	カールと編み込みでスタイルを作る ②	夜会巻きチェック	③				
	8 8/18	前髪アレンジでアップスタイルを作る	夜会巻きチェック	④				
	9 9/5	カールでアップスタイルを作る ①	夜会巻きチェック	⑤				
	10 10/7	カールでアップスタイルを作る ②	夜会巻きチェック	①				
	11 10/12	編み込みでアップスタイルを作る	夜会巻きチェック	②				
	12 10/26	パーティースタイルを作る ①	夜会巻きチェック	③				
	13 11/11	パーティースタイルを作る ②	夜会巻きチェック	④				
	14 11/21	パーティースタイルを作る ③	夜会巻きチェック	⑤				
	15 12/5	パーティースタイルを作る ④	道具の片付け					
	16 12/16	パーティースタイルを作る ⑤	道具の片づけ					
成績評価	1) 平常点 70 %		2) レポート 30 %					
	1) 授業中のスタイル課題+夜会巻きチェック		2) 後期の企画書提出					
教科書・教材	プリント配布							
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚、 コーム、ピン、ダックカール、ビニールゴム							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンやコーム、ピンは、私物使用になるため、各自で用意の事 (授業内で説明あり)								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	高橋 みさ子			
授業形態	講 義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ● 健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ● 個々のQOLを高めるための福祉活動の在り方について学ぶ。 							
授 業 計 画	1	福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアを学ぶ					
	2・3	人体の基礎知識（基本的には高齢者） ○ 人体の老化による変化を知る ○ 心身活動に対する適応 ○ 老化の原因 ○ 皮膚のしくみ					
	4・5	アロマセラピー ○ アロマセラピーの目的 ○ アロマセラピーの人体への作用					
	6～8	ハンドケア ○ 福祉皮膚美容の手技を習得する ○ 一般的な手技と福祉皮膚美容士の施術の違いを習得する					
	9～11	フットケア ○ 足のむくみなどのケアを習得					
	12～14	爪のケアとカラーリング ○ 福祉活動における爪のケア ○ QOL活動の満足感を与える一助の技術を習得					
	15・16	表情筋トレーニングとセラピーメイク ○ 表情を豊かにするセラピーメイクを習得する ○ QOLを高め満足感を与える一助の技術を習得					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 地域貢献ボランティア 機会が合えば校外活動として参加 </div>						
成績評価	① 平常点(出席40%・授業態度20%・意欲20%) 80% ② レポート 20%						
教科書・教材	福祉皮膚美容教本 (No1～No7)						
使用教具・器材	タオル・ネイル道具・メイク道具・マッサージオイル(教材を使用)						
テキスト・参考文献： 新版 からだのしくみカラー辞典							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆(12色以上) A4サイズ(30穴)のリングファイル A4クリアファイル(配布資料の保存) 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／後期				
科 目 名	サロン実務(ライフキャリア)		担当教員	高橋 みさ子				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標を達成するためにキャリアビジョンを計画しスキルアップを行う。 ・ 仕事に対する意識を自発的に向上させるエネルギーを身につける。 ・ 美容の歴史と現代の美容業界の流れを知ること。 ・ サロン実習に備え自ら行動し、即戦力となる人材を目指す ・ 就職活動に向けて履歴書作成・自己表現ができることを目的とする。 								
授 業 計 画	1～8	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフキャリアのための自己啓発 キャリアビジョンを描くことを認識する。 エステティシャンとしての自覚・心構え 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） （挨拶・笑顔・姿勢・動向・配慮） ● サロン研修トレーニング（ワークショップ形式） エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え（身だしなみ・所作等） お出迎え～お見送り（笑顔・動向・言葉遣いに気を配る） 電話対応（声のトーン、態度、的確な受け答え、伝達などに関する言葉を覚える） ● 就職活動に向けて 自己表現をする。（相手に伝わるスピーチを考える） 就職活動に向けて目標とするサロンをリサーチする。 履歴書を作成する。 						
	9～14	サロン現場実習 平日 11:00～18:00（実質6時間） （10:00～17:00） 日報作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★ 現場に於いてのサロン実習は諸々の環境事情により日程を決め実施することとします。</p> <p>★ 現場でのサロン実習は、社会人としての自覚の必要性、目標とする職業を知ることが目的です。</p> </div>					
	15～16	サロン現場実習振り返り レポート作成						
成績評価	① 平常点(出席) 40% ② レポート 20% ③ サロン評価 40%							
教科書・教材	プリント配布							
使用教具・器材								
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード								
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となりますので、常に清潔感を意識すること。 実習先への忘れ物がないようにし、時間を守り、業務連絡を的確に行い、相談報告を怠らないこと。 サロン実務とは何かを各自が考え、目的や目標をしっかりと立て、真摯に取り組むようにしてください。								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次／前期			
科 目 名	エステティック概論	担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 最新の栄養学や美容法を学び、サロンワークに活かすことができる。 学んだ知識を積極的に実践し、自身の体験（エビデンス）を積みかさねる。 感性や教養を磨き、質の高いコミュニケーション力を身につける。 世界のエステティクを学び、幅広い視野を持ったエステティシャンを目指す。						
授 業 計 画 面	1・2	・インナービューティーⅠ 食物繊維（ダイエタリーファイバー）について 「食生活指針」とは 肥満のメカニズム、PFCバランス、GI値について アンチエイジング・健康美をつくるための食べ物（フィトケミカル）				
	3・4	・インナービューティーⅡ 「温活」と「腸活」について 冷えの原因や腸内環境の関係について(デトックス) エクササイズの実践				
	5・6	・ファスティングとは 5：2ファスティングについて オートファジーとは 禁忌について ・ストレスマネジメント ストレスとは ストレスとホメオスタシス（自律神経、ホルモン、免疫）の関係について ストレスと皮膚、ストレス耐性について ストレスと上手に付き合う方法				
	7	・音楽に触れて感性を磨く ミュージックセラピー（音楽療法） 聴いたことのある親しみやすいクラシック音楽 ・ヒーリング（α波）ミュージック 癒しと脳波・自律神経の関係 ※各授業ごとに小テストあり				
	8	・前期試験				
成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲) 80 % ② 定期試験 20 %					
教科書・教材	プリント配布					
使用教具・器材	プロジェクター					
テキスト・参考文献：	クラシック音楽の世界（新星出版社）クラシックの楽しみ方（SBビジュアル新書） 栄養素図鑑（新星出版社）「体を温める健康法」（パワーブックス） 腸内リセットダイエット（マキノ出版）間欠的ファスティング（マキノ出版）					
その他(授業担当者のコメントなど)	幅広い知識と豊かな感受性をもって接客できるプロを目指してください。 お客様に関心・興味をもって接し、信頼されるエステティシャンを目指してください。					

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次／前期			
科 目 名	マネージメント・関連法規	担当教員	廣川 俊輔			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 エステティックに関連する法律を理解すること。						
授 業 計 画	1	法の基礎知識				
	2	消費者保護				
	3	個人情報の取扱い責任および保護について				
	4	特定商取引に関する法律①				
	5	特定商取引に関する法律②				
	6	広告および消費者への訴求に関する規制①				
	7	広告および消費者への訴求に関する規制②				
	8	前期試験				
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%					
教科書・教材	エステティックに関する関連法令					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献：						
その他(授業担当者のコメントなど)						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期				
科 目 名	皮膚科学		担当教員	高橋 みさ子				
授業形態	講義・演習		授業時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ● 人体のしくみを理解し皮膚への作用を学習する。 ● 皮膚トラブルの要因と対処方法を学習する。 ● 種々の変化・トラブルを理解し、考察することでエステティシャンとしての対応ができることを学習する。 								
授 業 計 画	1-2	体のしくみを復習 肌(体)心を結ぶ働きを学習する	1年生の復習 (テスト)					
	3-4	皮膚について ① 皮膚の役割 ② 肌(皮膚)を見る ③ 肌に表れる様々な因子について ④ 正しく見る視点	ワーキング力を高めるための図表作成及び演習					
	5-8	皮脳同根について ① 皮膚は心の表れである所以を学習する ② 皮膚感覚(五感)について ③ 三つの脳の働きについて	カウンセリングをするための学習					
	9-10	ホルモンと神経と皮膚の関係性について ① 体の調整役ホルモン ② 自律神経のリズム(ストレス)	恒常性について把握する					
	11-13	肌質の分類 ① 乾燥肌の特徴 ② 脂性肌の特徴 ③ 肝斑(シミ) ④ しわ・たるみ	皮膚の特徴・質感・顔色・肌年齢を適切に分析する。					
	14-15	皮膚の障害 ① 接触性皮膚炎 ② 老化	皮膚トラブルを考察する。					
	16	前期試験						
成績評価	① 平常点(出席率) 20% ② 定期試験 80%							
教科書・教材	ソワンエステティック理論 1 . 日本化粧品検定1級対策テキスト、日本化粧品検定2級3級対策テキスト プリント配布							
使用教具・器材								
テキスト・参考文献： 化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典								
その他(授業担当者のコメントなど) A4クリアファイル (配布資料の保存)								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年				
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数	48
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーの基本的体系をはじめ、目的とその必要性、ワンランク上の専門知識と技術の習得を図り、サロンワークに役立つスキルを得る。また、パーツトリートメントとしてもニーズの高いフットやハンドトリートメントを行う上で不可欠なフレクソロジー（反射区療法）、トータルトリートメントとしてリンパドレナージュと一般的なエステティックトリートメントとの違いについての理論を学び、技術の習得も目指す。								
授 業 計 画	5/11 (水)	①②③教材配布・オリエンテーション	アロマオイルを使った反射区（療法） トリートメント①フット・ハンド・その他					
	6/2 (木)	④⑤⑥アロマオイルを使った反射区（療法）	トリートメント②フット・ハンド・その他					
	6/16 (木)	⑦⑧⑨アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ①					
	6/28(水)	⑩⑪を使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ②					
	7/6 (水)	⑫⑬⑭アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ③					
	7/21 (木)	⑮⑯⑰アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ④					
	8/17 (水)	⑱⑲⑳アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ⑤					
	8/23 (火)	㉑㉒アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ⑥					
	8/31 (水)	㉓㉔㉕アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ⑦					
	9/14 (水)	㉖㉗㉘アロマオイルを使用したボディトリートメント	※リンパドレナージュ⑧					
	9/16 (金)	㉙前期試験 筆記						
	9/21 (水)	㉚㉛㉜前期試験 実技						
	10/5 (水)	㉝㉞㉟体質別 施術①						
	11/15 (火)	㊱㊲㊳体質別 施術②						
	12/20 (火)	㊴㊵㊶体質別 施術③						
	1/24 (火)	㊷㊸㊹総まとめ						
	1/25 (水)	㊺後期試験 筆記						
1/27 (金)	㊻㊼㊽後期試験 実技							
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 90 %							
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト・教科書4・その他プリント配布 タオル類・筆記用具・色鉛筆							
使用教具・器材	配布教材一式（1年次配布分含む）							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回エステユニフォーム着用、適切な身だしなみで受講してください 植物アレルギー、皮膚疾患等がある場合は、早めにその旨申し出てください								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	エステティック応用		担当教員	乙咩 純子 (美容業界にてエステティック実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティックにおける電流の適用と特性を実践的に機器を用いて理解を深める ・ 身体のプロポーションについて、採寸、サイズダウン、痩身について理解を深める ・ 食餌療法と若さや健康について、三面美容の重要性を理解しサロンワークでのコミュニケーション力を身につける ・ 専門機器について、装置及び機材の名称、使用化粧品、機器の使用法と機器の手入れを学ぶ 							
授 業 計 画	1. 2. 3	理論 痩身について 専門機器について (取り扱い方、注意事項、禁忌事項)					
	4. 5. 6	実技 接客・電話対応・採寸					
	7. 8. 9	実技 カルテ作成・ロールプレイング・カウンセリング					
	10. 11. 12	実技 ボディ①					
	13. 14. 15	実技 ボディ②					
	16. 17. 18	実技 ボディ③					
	19. 20. 21	理論・実技 フェイシャルについて フェイシャル①					
	22. 23. 24	実技 フェイシャル②					
	25. 26. 27	実技 フェイシャル③					
	28. 29	理論 確認テスト					
30. 31. 32	実技 ボディ、フェイシャル						
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 実技 60 % 筆記 30 %						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	ラジオ波						
テキスト・参考文献： クリップボード A4サイズファイル(配布資料の保存)							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となります。常に清潔感を意識すること。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次/通年			
科 目 名	造形と色彩	担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義	授業時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ パーソナルカラリスト検定2級合格を目指す (2級取得者は1級取得を目指す) ・ 色についての応用力を深め、色の知覚効果やCUSを用いた配色テクニックを学ぶ。 ・ パーソナルカラーとスタイリングの関係を学ぶ。 						
授 業 計 画	1.2	オリエンテーション 第1章 色彩と文化～染料と顔料、それにより出来る色の種類と色名を知る ヨーロッパの色の歴史(古代ギリシャから近世の色まで) 基本色彩語 歴史は各班にて時代ごとにプレゼンテーション				
	3.4	第2章 色彩理論～ 色彩の基礎 混色・・・減法混色、加法混色、中間混色についての原理 照明と色・・・光源の種類、その用途、照明による色の見え方の違い 色の知覚効果・・・物理的な側面、心理的な側面から変化する色の見え方 加齢による眼の構造の変化、物の見え方				
	5.6	第2章 色彩理論～ 基本的な配色テクニック (プリント) ・ 配色の構成法 ・ 色相配色と色調配色				
	7.8	第3章 CUS配色理論～ CUS配色調和論・・・色調によってアンダートーンが変化すること (特に明度の変化により、アンダートーンが変化することを知る) (プリント)				
	9	第4章 色彩を活かす配色テクニック～ファッション、ディスプレイ、インテリア ・ 色彩の配色テクニック ・ 色彩構成による演出 (プリント)				
	10.11	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング イメージワード・・・各シーズンとの関連性を紐図ける				
	12.13	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング・シーン別のコーディネート ヘアカラー・ネイルカラー・ビジネスシーン・アウトドア パーティ・ブライダル				
	14	前期試験				
	15.16	パーソナルカラー検定対策	まとめ・過去問・解答・解説			
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%					
教科書・教材	パーソナルカラリスト検定2級公式テキスト(2級・1級合板) カラーカードCUSカード157					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献: パーソナルカラリスト検定2級問題集 Color Arrangement						
その他(授業担当者のコメントなど) より色彩の知識を理解して、検定2級に挑戦。						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	東洋医学		担当教員	星野 晶子			
授業形態	講義	授 業 時間数	64	単位数	4	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 質の高いエステシャンになるにはプライマリケアを学ぶことが重要である。すなわち、皮膚、体にトラブル発生する前にそれを未然に防ぐためのケアが行えるよう、人体のバランスを学ぶことが重要である。 東洋医学でいかに人間がバランスをとることで健やかに生きることができるか、衣食住の環境を整えることが心身の健康維持につながるかを学び、身近にある食品、植物、薬品とのかかわり、東洋医学すなわち、中医学、漢方、アロマ、アーユルヴェーダなどの補完代替医療のつながりを総括的に学び、その活用法を身につける。							
授 業 計 画 面	1	東洋医学とは					
	2	中医学一陰陽説と五行説					
	3	中医学一漢方の基礎一気・血・水、五臓六腑					
	4	中医学一経絡について					
	5	食中毒や下痢、便秘など身近な病気と対処法（腸内フローラについて）					
	6	中医学一主な経穴					
	7	プライマリエステティック一正食法を中心に					
	8	アーユルヴェーダの起源					
	9	中医学 - 病位の診断					
	10	熱中症					
	11	アーユルヴェーダー 3つエネルギー					
	12	東洋医学一病位の活用法と経絡					
	13	アーユルヴェーダーからだのなりたち					
	14	アーユルヴェーダー病気の進行					
	15	アーユルヴェーダ式食事法一食事とは					
	16	アーユルヴェーダ式美容法					
	17	アーユルヴェーダ式食事法一食生活					
	18	アーユルヴェーダ式食事法一ハーブとアロマ					
	19	アーユルヴェーダ式美容法					
	20	アーユルヴェーダ式セルフマッサージ					
	21	前期試験					
	22	試験解説・アーユルヴェーダ式セルフマッサージ					
	23	アーユルヴェーダとヨーガ					
	24	アーユルヴェーダ式セルフケア - 毎日の活動					
	25	アーユルヴェーダ式セルフケア - 心と感情					
	26	女性のホルモンバランスと更年期					
	27	アーユルヴェーダ式セルフケア - アロマの活用					
	28	女性特有の疾患					
	29	アーユルヴェーダの治療法					
	30	アーユルヴェーダ式セルフケア - 身近な疾患					
	31	東洋医学と身近な病気					
	32	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	Esthetics5, 配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： これ1冊できちんとわかるアーユルヴェーダ							
その他(授業担当者のコメントなど) 東洋医学的な考え方からお客様の体に直接触れるエステシャンとして自身がいかに健康を保つか、お客様に的確なアドバイス、共感ができるようになるヒントになるような授業です。 平常点は、宿題の提出・内容・授業の出欠・態度を考慮いたします。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	ボディワーク		担当教員	小柳 佐知子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・生活に生きるヨガを学ぶ ・心身統一 ・自律神経を整え、心の健康を目指す ・ヨガ哲学 ・ヨガを通して、生活を豊かにする知識と技を学ぶ 							
授 業 計 画 画	1	自己紹介・授業の進め方・ヨガの呼吸・呼吸法（腹式、胸式、鎖骨式）・坐法（リラクソヨガ）					
	2-4	呼吸法（完全呼吸）・坐法（リラクソヨガ） 2：ヨガとは 3：トレーニングの基礎理論（超回復） 4：ヨガ哲学 ギター					
	5-8	呼吸法（完全、片鼻クンバカ）・坐法（リラクソヨガ、太陽礼拝古典） 5：つば 6：トレーニング基礎理論（週頻度） 7：ギター 8：つば					
	9-12	呼吸法（完全、短い呼吸カパーラバーディ）・坐法（姿勢改善ヨガ、太陽礼拝A） 9：トレーニング基礎理論（ヨガの体の使い方） 10：ギター 11：つば 12：トレーニング基礎理論（食事とトレーニング）					
	13-16	呼吸法（完全、勝者の呼吸ウジャーイ）・坐法（骨盤調整ヨガ、太陽礼拝A） 13：骨盤低筋群について 14：ギター 15：つば 16：トレーニングの基礎理論（食事のバランス）					
	17-20	呼吸法（完全、輔の呼吸バストゥリーカー）・坐法（美脚ヨガ、太陽礼拝B、ペアヨガ） 17：質疑応答 18：ギター 19：つば 20：トレーニングの基礎理論（ウェイトコントロール）					
	21-24	呼吸法（完全）・坐法（ボディメイクヨガ、太陽礼拝B、ペアヨガ） 21：ギター 22：つば 23：トレーニングの基礎理論（基礎代謝と身体活動レベル） 24：ギター					
	25-28	呼吸法（完全）・坐法（ピンヤサフローヨガ） 25：つば 26：未来のヨガ 27：アーユルヴェーダとヨガ（4つの姿勢） 28：つば					
	29-32	呼吸法（完全）・坐法（フリー）・整体 31：質疑応答 32：総まとめ					
	成績評価	平常点 100 % 出席率・授業態度・忘れ物・準備等					
教科書・教材							
使用教具・器材	ブロック、ベルト、ヨガマット、タオル、お水、						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 動きやすい服装（スカート不可）、素足で行ってください							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期				
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来				
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16	
科目の到達目標及び授業内容 「キャリア形成」とは人生・職業生活において、自らの価値や役割を見いだし、人間的成長・自己実現を図ること 自立した社会人になることを目標に、働くことの意味を真に理解し、仕事をするために必要となる「考え方・行動・技術」 を身につけるため、3つの能力を習得する 1. 社会人基礎力、自己理解、仕事理解 2. コミュニケーションスキル「傾聴力・質問力・気づく力・観察力・自己表現」 3. 論理的思考能力（考える力・書く力・表現する力）、問題・課題・目標設定・計画力								
授 業 計 画	1	オリエンテーション、一年次復習 社会人基礎力とは						
	2	キャリアプラン作成（1・5・10年後）：棚卸し、問題・課題・目標設定（現状とあるべき姿）						
	3	自己理解のための自己分析（価値観把握・交流分析・エゴグラム）						
	4・5	職業・仕事の知識と理解のためのワーク 社会人基礎力・エンプロイアビリティ（雇用され得る能力）						
	6・7・8	コミュニケーションスキルを磨く、傾聴トレーニング、ロールプレイ 「傾聴力・質問力・気づく力・観察力」「自己表現（アサーション）」						
	9	論理的思考トレーニング（マインドマップ・ロジックツリー・各種フレームワーク）						
	10	「書く力」：文章の書き方・ルール						
	11	「話す力」：スピーチ・プレゼンテーション						
	12	原価管理の基礎（売上・原価・利益の関係）						
	13・14	アウトプット学習（総復習） 敬語、報告連絡相談、電話応対、メール文書作成						
	15	キャリアプランの振り返り・評価 前期試験対策						
	16	前期試験						
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%						
	教科書・教材	配付プリント						
	使用教具・器材	パソコン、プロジェクター、スクリーン						
	テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 日々の考え方・行動が習慣を変え、人生を変えていきます。 今まで学んだことを一つひとつ意識して行動に移すことで習慣化され、目標が達成できるようになります。 「自分は何ができて、何がしたいのか」一年次より成長した自分を実感してください。								

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	茶道		担当教員	関野 ちか			
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 日本の伝統文化である茶道を通して、立ち居振る舞いとおもてなしの心を会得する。 点前の作法から日常生活の向上と合理性を理解し、茶道を生活の中に生かすとともに礼儀を学ぶ。 客（もてなされる側）と亭主（もてなす側）が互いに相手を思って行動する。 浴衣を着ることで所作を身につけ、きれいに早く着ることができるようになる。							
授 業 計 画 画	1～2	茶道とは 古儀茶道藪内流について 茶席のマナー 浴衣着付け お辞儀の仕方（扇子の扱い方） 薄茶、お菓子のいただき方					
	3～4	立ち居振る舞い 道具について 割り稽古（ふくさ捌き） 薄茶、お菓子の運び方					
	5～6	割り稽古（茶碗、茶筌の扱い方、茶巾のたたみ方） 主菓子と干菓子 客と亭主					
	7～8	割り稽古（棗、茶杓、柄杓の扱い方） 客と亭主					
	9～14	風炉薄茶 運び点前 客と亭主					
	15	風炉薄茶 山里棚点前 客と亭主					
	16	まとめ 茶会					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 実技テスト 50%						
教科書・教材	ふくさ・扇子・懐紙・菓子切り 浴衣一式・足袋または白色ソックス						
使用教具・器材	ふすま・たたみ・毛氈・電気ポット・延長コード 風炉釜・茶碗・茶杓・茶筌・棗・茶巾・柄杓・蓋置・建水・菓子器						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業の始めと終わりに畳をから拭きすること。 浴衣を着て授業をします。髪は夜会巻きまたはシニオン等、結んでまとめる。 欠席、忘れ物などは減点評価になります。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期				
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジ実務経験)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ 同じ髪型でもモデルが違えばアレンジが変わることを実感し、現場対応をする力をつける ・ 浴衣に合わせた髪型を意識して、TPOに合わせた髪型を考えて作る ・ 一人で浴衣の着付けができるようにする ・ 事前に今から作るデザインをモデルに説明し理解を得ることで、提案（アプローチ）の実践をする ・ 欠課が無いよう自己管理をする 								
授 業 計 画	1 4/26	一年生と浴衣用のヘアアレンジをしよう	準備物：肩タオル2枚、アイロン、消毒用タオル					
	2 4/26	一年生と浴衣用のヘアアレンジをしよう	準備物：肩タオル2枚、アイロン、消毒用タオル					
	3 5/6	お出かけスタイルを作ろう ①	まとめ髪スタイル	夜会巻きチェック①				
	4 5/13	浴衣用のヘアアレンジ ①	まとめ髪スタイル	着付けチェック ①				
	5 5/23	お出かけスタイルを作ろう ②	トップアレンジ	夜会巻きチェック②				
	6 6/1	浴衣用のヘアアレンジ ②	トップアレンジ	着付けチェック ②				
	7 6/13	お出かけのスタイルを作ろう③	ハーフアレンジ	夜会巻きチェック③				
	8 6/17	お出かけのスタイルを作ろう④	前髪アレンジ	夜会巻きチェック④				
	9 6/24	お出かけのスタイルを作ろう⑤	毛先ふわふわスタイル	夜会巻きチェック⑤				
	10 6/30	浴衣用のヘアアレンジ ③	ハーフアレンジ	着付けチェック ③				
	11 7/8	お出かけのスタイルを作ろう⑥	すっきりスタイル	夜会巻きチェック⑥				
	12 7/14	浴衣用のヘアアレンジ ④	前髪アレンジ	着付けチェック ④				
	13 7/20	浴衣用のヘアアレンジ ⑤	毛先ふわふわスタイル	着付けチェック ⑤				
	14 8/14	浴衣用のヘアアレンジ ⑥	すっきりスタイル	着付けチェック ⑥				
	15 8/24	浴衣用のヘアアレンジ ⑦		着付けチェック ⑦				
	16 9/1	浴衣用のヘアアレンジ ⑧						
成績評価	1) 平常点 80 % (授業中のスタイル課題 + 夜会巻きチェック + 着付けチェック) 2) レポート 20 % (企画書提出)							
教科書・教材								
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚、コーム、ピン、ダックカール、ビニールゴム							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど)	プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンやコーム、ピンは、私物使用になるため、各自で用意の事（授業内で説明あり）							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次／前期			
科 目 名	福祉皮膚美容	担当教員	鶴 舞子			
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 高齢者における美容の役割を認識し技術を学ぶ 高齢者の五感のバランス機能について学び、その五感をフルに活用した美容技術・知識を習得する						
授 業 計 画	1	◆福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアについて ◆人体の基礎知識				
	2-3	◆ハンドケア・フットケア 緩和ケアへの技術(3つの配りをもった技法)を学ぶ パルパシオンマッサージの理解				
	4-5	◆アロマセラピー				
	6-7	◆演習 セラピーメイク セラピーメイク(お化粧が高齢者にもたらす影響)				
	8	◆演習 カラーリング ネイル(カラーリング)				
	9-10	◆レクリエーション				
	11-12	◆レクリエーション				
	13-14	テスト(筆記・実技)				
	15	◆レクリエーション				
	16	◆レクリエーション				
成績評価	① 平常点 30% ② 実技テスト 40% ③ 筆記テスト 30%					
教科書・教材	福祉皮膚美容テキスト (No1～No7)					
使用教具・器材	マッサージオイル・メイク道具・ネイル道具・タオル・その他 色鉛筆 (12色以上)					
テキスト・参考文献：						
その他(授業担当者のコメントなど) 3つの配り (目配り・気配り・心配り) を自分の力とすることを日頃から気に留めてください。						

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年											
科 目 名	サロン実務		担当教員	高橋 みさ子											
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	288	単位数	9	授業回数	144							
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシヤンの仕事に対する意識を向上させる。 ・ サロンワークに必要な、接客マナー、実践テクニック、営業力、コミュニケーション能力を身につける。 ・ 社会性を身につけ、働く意義を自覚させる。 ・ 考える能力を高め自己啓発を促進させる。 ・ 就業で体験した技術が役立つ人材になるようプロ意識を持たせる。 															
授 業 計 画	1～24	自己のライフキャリアとキャリアビジョンを考察する 自分の目標とするものを考える スキルアップをする理由 スキルアップをする人とならない人の差 自分がスキルアップをするかしないか	ワークショップ ★ 個々の意見が出せるようになること ★ 他者の考えを理解する能力を高めること ★ 地頭力を鍛える 目的※考える能力を高める為の演習												
	25～28	エステティシヤンとしての自覚・心構え エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え（身だしなみ・所作等） 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） サロンでの1日の流れ													
	29～70	エステティシヤンサロン模擬実習工程 お出迎え～お見送り 予約の取り方・電話対応等 接客手順・各種マナー確認 トリートメント工程 美容機器の取り扱いについて 救急の確認													
	71～142	サロン現場実習 平日・土日 11:00～18:00（実質6時間） （10:00～17:00） 日報作成・レポート提出	● 実習先は就職先により異なる。 ● 一般企業サロンの場合 <table border="1" style="margin-top: 5px;"> <tr> <td>1回目</td> <td>面接</td> <td>指導</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>実働評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3回目～</td> <td>稼働要請</td> <td>稼働金発生</td> </tr> </table> ★ 稼働金が頂ける人材になりましょう！					1回目	面接	指導	2回目	実働評価		3回目～	稼働要請
1回目	面接	指導													
2回目	実働評価														
3回目～	稼働要請	稼働金発生													
	143～144	サロン現場実習振り返り レポート作成 その他予定 地域貢献ボランティア 体験学習													
成績評価	① 平常点(出席・授業態度・意欲) 60% ② レポート 20% ③ サロン評価 20%														
教科書・教材	プリント配布														
使用教具・器材	実技教材（化粧品一式）タオル一式														
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード															
その他(授業担当者のコメントなど) 毎日の暮らしの中で感謝の気持ちを忘れず礼節をわきまえ凛とした態度で過ごしましょう。 自分の責任は自分でとれるようになること。時間は厳守、自己判断をせず常に報連相の意識を持つことです。 困ったことも嬉しいことも辛いことも一人で抱え込まないでお気軽にご相談ください。															

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	メイクアップ応用		担当教員	斉藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 1年次に習得したメイクアップ技術を更に進化させ、多様なバリエーション、TPOに合わせたメイクアップ、アーティスティックメイクアップ等の習得を図る。 ヘアメイクアップフォトコンテスト参加、作品制作、入賞をねらう ※今年のテーマ「Fusion フェュージョン」							
授 業 計 画	4/28 (木)	1. 2. 3	教材配布・ガイダンス・TPO別、世代別サロンメイク				
	5/12 (木)	4. 5. 6	セレモニーメイクアップ				
	5/19 (木)	7. 8. 9	スチールメイク①				
	5/26 (木)	10. 11. 12	スチールメイク②				
	6/7 (火)	13. 14	撮影				
	6/9 (木)	15. 16. 17	スチールメイク③				
	6/23 (木)	18. 19. 20	スチールメイク④				
	7/7 (木)	21. 22. 23	スチールメイク⑤				
	7/28 (木)	24. 25. 26	スチールメイク⑥作品制作撮影				
			夏休み				
	8/18 (木)	27. 28. 29	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ①				
	9/6 (火)	30. 31	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ②				
	9/13 (火)	32. 33. 34	アドバタイジングデザインにおけるメイクアップ (媒体別) ③				
	9/22 (木)	35. 36. 37	前期実技試験				
	10/4 (火)	18. 19. 40	ステージメイク①				
	10/6 (木)	41. 42. 43	ステージメイク②				
	10/11 (火)	44. 45. 46	ステージメイク③				
	10/25 (火)	47. 48. 49	アーティスティックメイク①				
	11/1 (火)	50. 51. 52	アーティスティックメイク②				
	11/22 (火)	53. 54. 55	アーティスティックメイク③				
12/6 (火)	56. 57. 58	アーティスティックメイク④					
		冬休み					
1/17 (火)	59. 60. 61	総復習					
1/26 (木)	62. 63. 64	後期実技試験					
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 90 %						
教科書・教材	メイク道具一式・タオル類・デザイン帳・サインペン・色鉛筆・絵具類 ボディペインティング、作品制作を行う場合はガウン、エプロン持参						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回実技を行いますのでメイク道具一式を必ず持参してください。忘れた場合は授業見学扱いとなります。作品制作は写真撮影、ヘアスタイリング、衣装や背景に使用する道具類も全て各自で行います。道具類の管理は各自の責任で行ってください。 毎回エステフォーム着用、適切な身だしなみで受講して下さい。							

2022年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	ネイル応用		担当教員	中溝 恵美 (美容業界にてネイル実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア・リペア・チップラップ・ジェルネイルなどサロンワークに適応できる知識と技術を身につける ネイリスト技能検定試験2級とジェル検定初級に興味を持ち挑戦する フラットアート・3Dアートなどのサロンアートを幅広く学ぶ オリジナルの感性を生かし、テーマに沿ったアートを作り出す力を身につける							
授 業 計 画	1～3	商品説明・テーブルセッティング・ジェル理論 (ジェルを塗る)					
	4～6	ジェルネイル施術 (ジェルを塗る・ジェルをオフする)					
	7～9	ジェルネイル施術・ジェルアート					
	10～15	ネイルケア理論・カラーリング・フラットアート					
	16～20	チップラップ (チップ装着・削り)					
	21～31	2級の流れ (ネイルケア・カラーリング・チップラップ・フラットアート)					
	32～34	前期試験予習					
	35～37	前期試験 (ネイルケア・カラーリング・ジェルカラーリング・フラットアート・チップラップ)					
	38～43	3Dアート・アクリルスカルプチュア					
	44～49	サロンアート・イベントアート					
	50～55	オーダーチップ制作					
	56～58	クリスマスアート・成人式アート					
	59～61	卒業制作 (テーマ決め)					
62～64	後期試験 卒業制作						
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 90 %						
教科書・教材	JNAテクニカルベーシック						
使用教具・器材	ネイル教材一式 その他 (タオル・キッチンペーパー・コットン)						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 忘れ物がないようにしてください。ネイル道具の管理 (消毒・保管) 各自の責任で行ってください。							